

発泡スチロールの再生利用

袋井工場 山田

発泡スチロール協会の調査において 2023 年の使用済み発泡スチロールの有効利用率は「92.0%」の結果となりました。

弊社袋井工場においてはスチロールポストと呼ばれる発泡スチロールを熱で溶かしインゴットにする設備があります。

月に約 1 トンのインゴットを作り再生工場へと出荷しています。

発泡スチロールの 98%は空気で構成されており、原料は 2%しか使われていませんので 1 トンの発泡スチロールをインゴットに溶融する前はかなりの量となると思います。

袋井工場へ見学に来られる子供たちはインゴットに触れその重さにびっくりする事が多いです。

再生工場では、加工しやすいように細かいチップ状にした再生発泡スチロールや文具などの製品としてマテリアルリサイクルされます。

様々な用途で使われる発泡スチロールの処分はぜひ弊社袋井工場へお持込下さい。